

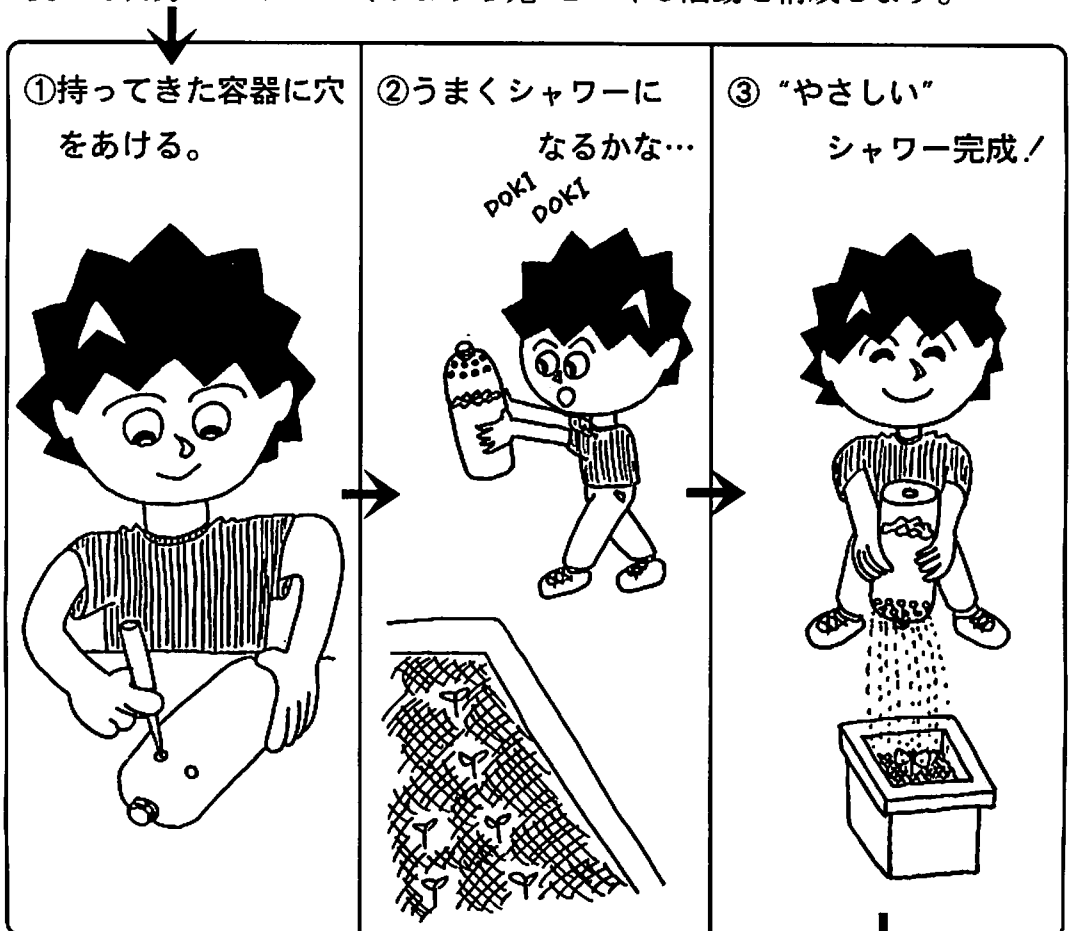
やさしいシャワーで

花や野菜を育てよう！

札幌市立伏見小学校 菅原英司

栽培活動では、自分の植物に継続してかかわっていくことが求められます。子どもの願いを実現させるためにも、単元の中で植物とのかかわりを強めていき、大切に育てようとする意欲を高める活動が必要になります。

そこで、単元導入段階に、ペットボトルやマヨネーズなど身の回りの材料を使い『自分のシャワー（じょうろ）』をつくる活動を構成します。



「大切に育てたい！」という気持ちが、植物にとっての“やさしい”シャワーという形で表現されるのです。シャワー以外にも手づくりの栽培グッズを工夫できれば、子どもの意欲が継続すること間違いなしです。